

家庭科 西智恵

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。明るく頼もしい存在の皆さんなら、卒業後も様々なことに挑戦できますね。そのためには心身共に健康でいることが大切です。「生きていることは食べる。食べることがは生きること。」しっかり食べて心も身体も満たされたら、楽しい未来が待っていますよ。

芸術科 三山 泰代

ご卒業おめでとうございます。高校三年の大切な時に、新型コロナウイルス（コロナ）のために大会やイベント、あらゆる行事において制限・中止となりました。それでもあなたたちは明るく元気で、未来に向けて努力をしている姿は頼もしく思いました。この先どんな事が起きようとも乗り越えてゆけると信じています。皆さんの描く未来が明るく夢（きぼう）あるものである事を祈ります。

図書補助員 久麻美

卒業おめでとうございます。まず、この大変な一年を乗り越えた皆さん、よく頑張りましたね。尊敬しています。少しでもサポートしてあげたくなるような、そんな一生懸命な姿に感動していました。これからも、おなかで個性豊かな今の姿を忘れないで過ごしてほしいと思います。この春から新たな環境に飛び込んでいく皆さんが、心配であり羨ましくもあります。今まで以上に健康に気をつけて頑張ってください。喜界島から応援しています。

養護教諭 御領原 恵子

卒業おめでとうございます。人生は、分かれ道の連続であり、何歳になっても悩むことは尽きません。そういう時には、一人で悩まず、信頼できる大人に相談することも大事ですよ。うまくいかないことも多々あるでしょう。そういう時は、喜界島からみなさんのことを思い応援してくださる方々を思いだして、新しいあなたの今の場所で頑張ってください。



事務長 有水 英和

卒業、おめでとうございます。いつでも「お陰様」という感謝の気持ちを忘れずに。みなさんの今後の活躍をお祈りします。

事務 瀧崎 愛里

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。今日はみなさんが未来に向かい、大きな一歩を踏み出す日です。一番近くで支えてくれた家族、今まで全力でサポートしてくださった先生方、そして友人。周りの人への感謝の気持ちを忘れず、これからの輝く未来へのスタートを切ってください。

事務室の掃除を一生懸命頑張ってくれてありがとう。一緒に床を磨きましたね。いろいろなお話ができて嬉しかったです。

今年度は我慢の一年でした。でもたくさんの我慢をしたみなさんには、きっと素敵なことがたくさん待っています。これからのみなさんの活躍を期待しています。

事務 肥後 有斗

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今春から始まる新生活に、期待と不安が入り混じっていることと思います。

これから迎える激動の社会の中で、皆さんには自らの人生の軸となるような夢中になれる楽しみを見つけてほしいです。そして心と身体を健やかに、元気があれば何でもできます。

事務室から皆さんのご多幸を祈っております。

会計年度任用職員 今井 史代

四十四名の皆さん、そして喜界支援教室のお二人、ご卒業おめでとうございます。

良くも悪くも幼・小・中・高校とずっと一緒に学び、切磋琢磨した友や生まれ育った喜界島を離れ、旅立とうとしている今の心境は、寂しさよりも嬉しさの方が勝っている事でしょう。親元を離れ自由になります。引き換えに自己責任が重くなります。自分の言葉には、気を付けて下さい。卒業して何年経っても卒業生の活躍は微笑ましく、とても嬉しいものです。ずっと島バンサーをしますで、どんな風に

変化・活躍するのを楽しみにしています。しっかり寝て、朝ご飯を食べて、新天地で頑張ってください。卒業おめでとうございます!!

事務補助員 増田 小百合

卒業おめでとうございます。皆さんに会って一〇ヶ月、顔も覚え、あいさつや声もかける様になりました。さつてきました。卒業後は、新しい生活や人との出会いがあります。自分の夢に向かって頑張ってください。皆さんが夢を叶え、再会できるのを楽しみにしています。

大島養護学校喜界支援教室 鎌田 克則

ご卒業おめでとうございます。島外での生活が始まります。それぞれが、様々なことを経験すると思います。

島へ帰ってきたり、同窓とあったりした時に互いに話をしてください。みなさんの今後のご活躍を祈っています。

「頑張れ 人は心が原動力だから心はどこまでも強くなれる」
by 竜門 炭治郎

大島養護学校喜界支援教室 生島 小梅

卒業おめでとうございます。三年間、体育や美術、音楽の授業や、修学旅行などの学校行事で支援教室の二人を今までと変わらず輪の中に入れてくれたこと、二人の誕生日を教室に来て祝ってくれたこと、榕樹祭で支援教室もステージ発表しませんでしたと声を掛けてくれたことなど、三年間の思い出はいつも皆さんの優しさと一緒にあったように思います。ありがとうございます。新生活、体には気をつけて楽しんでください。

大島養護学校喜界支援教室 支援員 戸越 修子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いつも支援教室三年生の二人を気にかけてくれ、三年生の一員として接してくれていた皆さん。島を出て、いろいろな人に出会えると思いますが、今と変わらず偏見のない優しさと朗らかさを忘れずにいてください。また健康には十分気を付けて頑張ってください。



現生徒会長 吉永 萌音

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。十八年間、この喜界島で仲間と共に歩んできた道のりを振り返り、この卒業という日を迎えて先輩方は何を感じているのでしょうか。高校生活を含め、島で過ごした時間にはたくさんの思い出があると思います。これから先輩方のほとんどが島を離れ、それぞれ自分が出た進路に進んでいきます。社会に出るといろいろなことに直面することもあると思います。そんな時には、十八年間育ててくださったご両親や仲間とこの喜界島での日々を思い出して頑張ってください。

先輩方には多くのことを教えていただきました。先輩方は喜界高校の中心となり、様々な行事を盛り上げてくださりました。今年度は、体育祭や榕樹祭が、新型コロナウイルスの影響で例年通りの実施が出来ませんでした。しかし、三年生の皆さんの団結力や明るさのおかげで無事に成功し、特に体育祭は、台風の影響を受けた中でも思い出に残る行事になりました。私たち後輩を引っ張ってくださったその姿は、見習うべきものだと思います。先輩方がいてくださったからこそ、学校全体が盛り上がり、みんなの心に残る思い出になったのではないかと思います。

先輩方がいなくなると不安に感じしてしまうことも多々あります。しかし、これからそれぞれの道に進まれる先輩方を、私たち高校生は全員で応援しています。先輩方が私たちにしてくださったように、私たちも後輩の目本となり、学校の顔として恥じぬように頑張っていきたいと思っています。

先輩方には温かく見守ってくださったご両親や先生方はもちろんのこと、この喜界島で過ごしたというかけがえのない経験があります。その経験から得た自信や誇りを胸に進学先や就職先で頑張ってください。今までの数年間、本当にありがとうございました。

私はこの文章を書きながら、卒業が近いというのを改めて実感しています。皆にとって、学校とはどのような存在ですか？

前生徒会長 保 萌生

私は怪我をして休学をしていたため、一年留年をしています。そして両親や先生方、クラスメイトの助けを得ながら高校に三年間通学して過ごすことができました。周りの方々には感謝しきれないほどです。しかし、そんな私ですが学校はあまり好きではありませんでした。それは私がずっと「ないものねだり」をしていたからでした。学校という同じ年代の人が集まった空間にいると、私は毎日頃から自分が障害者であるというのを強く感じざるを得ませんでした。物理的に行事ごとなどに参加することは難しく、できたとしても自分の望む形ではないため、参加したくないという気持ちが大きくなってしまいました。そうして皆が参加し、楽しんでるのを目にする度に、私は徐々に自分の状態を他者と過去の健常者だった頃の自分と比較し、苦しむことが多くなっていききました。できなく中々選別が減り、色々と諦めていく中どうすれば自分の人生を全うできるのかと頭を抱えることが多々あり、次第に自分が生き辛さを感じていく。健常者が存在するからであり、私は優しきとは精神的余裕×自身を正当化できる倫理観の度合い（松葉杖を使っている周りの人は優しくなるが、使わないでノロノロ歩いていると迷惑がられるみたいだ）と思ってしまうので、全員が障害者を持つ人々の困難が視覚化でき、自分の生き辛さも解消されることを考えた日もありました。しかし高校四年間を通して、勉強や、生徒会長に立候補し色々なことに挑戦したこと、友人や恩師との出会い、受験、読書など様々な経験から私は「足ることを知ること」を学ぶことができました。まだ完全に払拭されたわけではないですが、少しずつ生き辛さを感じることがなくなる。今では学校も悪くないなと思うようになりました。

つらつらと自分語りをしてしまいましたが、在校生へは僕の高校生活四年間で得た「自分の肌でたくさん触れたい」と「あるもの探しをしなさい」という、この二つの言葉を贈ります。少し説教臭くなってしまうのは許してください。

最後に、楽しいことや苦しいことがあると思いますが、みんなの高校生活がトータルでプラスであることを願います。



喜界高だより

校訓
自主自立
開拓創造
公德奉仕

鹿児島県立喜界高等学校

電話 (0997) 65-0024

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2536 FAX (0997) 65-0217

ホームページアドレス <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kikai>

No.116



AIに負けない問題発見力

校長 田嶋 吾富

珊瑚礁を映し出す海の色も鮮やかな青色へと変わり、穏やかに島を吹き抜ける風に、春の到来を感じる今日のこの佳き日に、栄えある卒業証書を手にした、三年生の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんは、入学した一年目から完成した新校舎で高校生活をスタートし、二年次は、新たな元号である「令和」がスタートしました。関西への修学旅行の楽しい思い出やさらに、本校創立七〇周年という大きな節目も重なり、式典や各行事も記念事業として盛大に行われ、まさに順調な高校生活を送ることができたのではないのでしょうか。そんな皆さんにとって三年生となり、集大成となるはずの各部活動の大会が新型コロナウイルス感染症のために中止となったり、休校措置により授業が一時期受けられない状況となるなど貴重な高校生活が奪われてしまいました。さらにコロナの感染防止対策として、今年度は校歌を歌う機会も減ってしまいました。コロナに奪われた日常は、改めて校歌の歌詞に込められた思いを再認識する機会を与えてくれたとも言えるのではないのでしょうか。

まず、一番の歌詞の「希望にもえて集うものあ向学の情熱強く」には、喜界高校創立へ奔走した先輩方の苦難と学びへの熱い思いが重なります。二番の「真理の道を進むものああ澁刺の意気高く」からは、部活動の大会出場は叶わなかったものの体育大会や榕樹祭では、受験勉強と両立させ、感染対策をとりながら限られた空間と時間を工夫しながら今できる精一杯のパフォーマンスで盛り上げ、文武両道を究めんとする皆さんの進るエネルギーが伝わってきました。そして、三番の「久遠の理想を旨とするものあ友愛の夢清く」からは、喜界支援教室の仲間と共に培ってきた友情を温め、これまでの七〇年の伝統に新たな歴史をしっかりと積み上げ築きあげた誇りを胸に旅立つという決意がうかがえるのではないのでしょうか。先輩たちがこれまで歌い継いできたこの校歌を胸に、きつとまた、近い将来には声高らかに歌わんとすることが必ず来ます。そのときを楽しみに卒業式では声を出して歌えずとも、心の中でこの意味をかみしめて欲しいと思います。

さて、これから皆さんが旅立っていくとして、この社会は、デジタル化を始めとする急激な変化により、複雑で不確実な時代となっていくことが指摘されています。そして、新型コロナウイルスの猛威は、ようやくいくつかのワクチンが出て来たとはいえ、今なお世界中で脅威であることに変わりはありません。私たちは未知のウイルスに遭遇し、当然のように続くと思われる日常生活の様式を変えざるを得ませんでした。まさに自分たちがいま置かれている世界が見えられない不確実性に満ちていることを身をもって実感したのです。

このような誰もが経験したことのない、正しい答えがない状況の中では、身の回りの社会課題に共感し、主体的に科学的思考でそれらを解決する力、客観的根拠に基づいて自ら考え、判断し、行動する力、新しい価値観を生み出し社会を牽引する力が求められるのです。しかし、単に与えられた問題から人工知能AIが得意とするところであり、明確に定義された問題に対する最も適当な答えを膨大なビッグデータから推論してくれるのです。その問題を与えるのは人間の役割であり、まだ明示的に語られていない問題を自ら能動的に発見していくことが重要になるのです。皆さんが総合的な探究の時間「がじゅまる」で学んできた「喜界島への提言」は、この喜界島の持続・発展のための課題を発見し、捉え、分析し、それを魅力へと変換し発信する力です。このように皆さんが身につけてきた資質能力は、これからそれぞれの新天地においても新しい価値観を生み出し社会を牽引する人間として成長していくうえでの基礎となると確信しています。自信をもってこれからの人生を高く遠くまで歩いていくください。さあ、旅立ちの時が来ました。帰らざる三年。人生は不可逆なのです。しかし、その道を振り返ると、決して自分一人の力で歩んでこれたわけでもなく、どんなにつらいときも誰かの温かい眼差しが支えていてくれたことに気づくでしょう。ブラジルの詩人アデマール・デ・パロスの「神われらと共に」(別名・浜辺の足跡)を最後に贈ります。この詩の「主」を「親」に変えて読んでみてください。

夢を見た、クリスマス夜の夜／浜辺を歩いて、主と並んで／砂の上に二人の足が、二人の足跡を残していった／私のそれと、主のそれと／ふと思った、夢のなかでのことだ／この一足一足は、私の生涯の一日一日を示していると／立ち止まって後ろを振り返った／足跡はずっと遠く見えなくなるまで／続いていく／ところが、一つのことに気づいた／ところどころ、二人の足跡でなく、一人の足跡しかないのに／私の生涯が走馬灯のように思い出された／なんとという驚き、一人の足跡しかないという／生涯でいちばん暗かった日とびつたり合う／苦悶の日／悪を望んだ日／利己主義の日／試練の日／やりにくい日／自分にやりきれなくなつた日／そこで、主のほうに向き直つて／あえて文句を言った／「あなたたちは私たちと共にいると約束されたではありませんか／なぜ約束を守ってくださなかったのか／どうして、人生の危機にあった私を一人で放っておかれたのか／まさにあなたの存在が必要だった時に」／ところが、主は私に答えて言われた／「友よ砂の上に一人の足跡しか見えない日／それは私がきみをおぶって歩いた日のだよ」

卒業生の皆さんの光り輝く未来に幸多きことを祈念致します。

第71回 卒業生へ送る言葉

卒業生へ贈る言葉

PTA会長 徹島 一秀

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、少し緊張しながらも皆さん方が新生活への期待に胸を膨らませながら入学式を迎えた日のことが、つい昨日のように感じられます。高校生活の三年間、学業や部活動、体育祭・学園祭と仲間たちと共にいつも明るく、楽しく頑張っていました。特に、三年時の悪天候で二日間に及んだ体育祭での応援演舞では、あなたたちがとても頼もしく、学園祭では先生方を交えたビデオ

贈る言葉

喜界高等学校本部同窓会長 嶺 義久

四十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはいよいよ社会への旅立ちで胸の中は大きな希望に膨らんでいることでしょう。またそれと同時に喜界島で過ごした一八年間を懐かしく思い出していることでしょう。特に高校生活では叱咤激励しながら学業を応援してくれた先生方、またライバル意識を燃やしながら競い合った部活動での同級生、先輩や後輩、苦しかったことに楽しかったことが走馬灯のように思い起こされているに違いありません。恐らくこの思い出は一生の宝物になります。

さて昨年は年明け当初から新型コロナウイルス感染が拡大し、今世界中が疲弊しています。非常事態宣言が発令されてからは交通業や観光業、飲食業を中心とした日本経済が大打撃を受けています。その影響は現在も継続しており五十六年振り二度目開催の東京オリンピックも延期になり日本国民は大きなショックを受けています。

また学校においては休校が実施され、行事や部活の各競技大会、コンクールも中止や延期、或いは開催規模が縮小されるなど不安とストレスを抱えた一年

放映、先生方との信頼関係を感じつつ思いっきり笑わせていただきました。卒業生の皆さんにとつて進学や就職活動で一番大事な時期に、新型コロナウィルスにより思うような活動が出来ない中で、貴重な時間を有効に使いみなで協力して作り上げたものだと感じました。

さて、四月からは十八年間過ごした喜界島を離れ、新たな生活のスタートです。親元を離れ未来への一歩、これからは自分で自分を律していかなければなりません。これから先、楽しいことばかりでなく、辛いことや厳しいこともたくさんあると思いますが、目をそらさずに対処していけば、その一つ

間でした。

学校行事では体育祭を見学しました。台風接近で日程が延期され、さらには大雨でグラウンドコンディションが最悪となり、補助グラウンドでの競技、体育館内での演技が行われました。そのような不便さにも関わらずすべての生徒が一丸となった行動を目標にしたとき、流石は喜界高校の生徒だと感動を覚えたものです。

一方学習環境面においては日本の高度成長期に建築され、少々安全面で不安があった旧校舎が近代的で安全な校舎に改築され、真新しい校舎で快適な高校生活を送ることができました。さらに昨年は喜界高校創立七〇周年記念式典行事など学校歴史の貴重な節目を経験しました。

一学期は長い休校もありましたが、学校の懸命な取組により学業面での遅れはないときいており、皆さんの努力を讃え、共に先生方に心より感謝いたします。

これから皆さんは喜界島を出て一人で生活を始めますが、この時期本人も親御さんも大きな不安がつきまといます。それぞれ道は違っても全国各地の人と肩を並べ、仕事や勉学に励まれることになりま。良好な人間関係を築いて頑張ってください。

一つが経験となりあなたを一回りも二回りも大きくしてくれたいと思います。喜界島を離れて、改めて親のありがたさ、先生方の厳しい指導の中にあるあなたの方へのやさしさ、離ればなれになる友人の大切さを感じると思います。あなたの方の周りには、やさしく見守ってくれる家族・先生・仲間がいます。今は自信をもって自分の信じた道を突き進んでください。私も保護者の一人として、一年後、二年後と成長したあなた方に会えるのを楽しみにしています。

最後に、

進学または就職とそれぞれに進む道は違いますが、一人ひとりが夢に向かって自分の道を切り開いてほしいと思います。

KEEP ON LEARNING

教頭 大倉 秀心

第七十一回卒業生諸君、卒業おめでとうございます。高校生活を終え、達成感や充実感、幾ばくかの後悔や悔しさなど、様々な感情が入り混ざっていることではないでしょうか。人生の節目として経験できない感覚です。大いに味わっておいてください。

さて、日本語で卒業といえ、一つの生活の「終わり」をイメージすることが多いと思います。しかし英語で卒業を意味する「graduation」と「commencement」には「終わり」のニュアンスはありません。graduationは「一段上げること、commencementは「一段上げること、commencement」を意味します。人生のこの節目に、自分のランクを一段上げて、新たなことに挑戦するチャンスと理解してはどうでしょう。一気にレベルを上げる必要はありません。一歩一歩、一段一段、少しずつ上げていけばいいのです。

gradually（徐々に・次第に）の語源がbradeから来ていることもこれで納得がいくでしょう。

学びの歩みを止めてはいけません。学校は卒業しても、学ぶことに卒業はないということなのでしょう。このような言葉の中に秘められた人間の知恵を忘れたくないものです。

F3担任 佐東 聖也

卒業おめでとう。みんなと過ごした三年間は、多くの人生においてもかけがえのない部分となりました。たくさんの方の成長を経験させてもらって同時に、成長させてもらいました。心からありがとう。

ぼくは、みんなと同じ一八歳の頃、本気でパイロットになりたいたくて、本気で目指していたという今は今でも話したことがあると思います。でもその希望はかなわなかった。しかし、今こうして天職とも思える仕事についています。そして、みんなとも出会うことができた。その場その場で一生懸命に生きていれば、昨日よりも今日、今日よりも明日という姿勢で生きていければ、必ず道は拓けるし、望んでいた以上のものが待っていることだってあるのだと思います。

「自分が動いて、人生を動かす」その感覚を大切に、残された人生を謳歌してください。 You are the BEST. See you again.

F3副担任 上段 亜希子

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。大学入試改革の嵐だけでも大変だったのに、コロナ禍と試験が続きむかえた卒業は、特に思い出深いものとなるでしょう。

贈る言葉は「過去に目を閉じる者は現在にも盲目となる」ドイツ・ヴァイツェッカー大統領の名言です。前だけを見るのではなく、常に自省をもつて、自分だけの・自分しか築けない人生を歩んでください。

希望の道 F3副担任 中村 英作

喜界高校に赴任して二年、屈託のない笑顔と何事にも情熱を持って意欲的に取り組む姿に毎日ワクワクしながら過ごしてきました。

この学年は、新入試制度初年度ということで振り回されたり、コロナの影響でインターハイ予選が中止になったり、学校行事も縮小される中、気丈な

態度で今出来ることに真摯に対応してくれましたね。思い出と言えば、修学旅行で舞妓さんに会ったこと。雨の中の体育大会で、競技と応援団ともに優勝したこと。文化祭で動画を撮ったことなど、たくさんの思い出があります。それらも今日で卒業です。

新しい道を進むには大きな不安もあると思いますが、自分自身を大きく変えてくれる分岐点であり、希望の道です。前向きに突き進み、それぞれの希望を掴み取ってください。何年後かにゆっくり酒を酌み交わしたいものです。今後の活躍を心から願っております。

F3副担任 福塚 史郎

卒業おめでとう。四月からの新生活に向けて、期待と不安でいっぱいだと思います。希望通りの進路に進めた人もそうでなかった人もいます。しかし、それは一人一人が決まってきた人。将来、鹿児島県の喜界島で教師をするなんて夢にも思いませんでした。皆さんは実はまだスタートラインにさえ立っていない状態だと思います。無限の可能性を秘めている「夢の卵」を大切に育ててください。

S3担任 上釜 代利子

卒業おめでとう。三年間皆と過ごして来て、たくさんの事を学ばせてもらいました。何事にも楽しく、一生懸命に取り組む姿、特に仲間を思いやる姿にはいつも感心させられていました。君たちは困っている人がいるとそと手を差し伸べる優しさを持っています。

友達とは「助けてくれるから友達ではなくて、助けてやりたいと思うからこそ友達なんだ」と私は思っています。そんな人になれるよう、卒業して別々の道に進むと思いますが、いつまでも仲間を大切に、喜界島で育ってきたことを誇りに、自分らしい人生を歩んでいくことが出来て、君たちの三年間に関わることが出来て本当に幸せでした。ありがとう。いつまでも応援しています。



S3副担任 黒葛川 健人

「高校生はこんなにも成長するのか」入学当初から今までの皆さんの高校生活を振り返って出てきた率直な感想です。

皆さんは三年間、勉強や部活動をはじめとする様々な活動を通して、大きく成長しました。楽しいことばかりではなく、思うようにならず苦しい時もあったことと思います。それでも逃げるに頑張ってきたから、今があるのです。これから的人生、多くの人に挑戦し、一人一人が自信と誇り、情熱を持って、良き人生を歩んでください。

大好きな君たちに出会えて、感謝です。ありがとう！

S3副担任 廣美奈代

卒業おめでとうございます。元気で朗らかな皆さんと話していると、いつも時間があっという間に過ぎてしまいました。月並みな表現ですが、出会えたことに感謝しています。

皆さんへ『優しさは弱さではなく想像力のことだ』と言う言葉を贈りたいと思います。たくさんの人に出会った中で自分と他人は「違う」ことを認識し、自分にならぬ感情を想像力で補って、柔らかな心で日々を過ごして欲しいです。皆さんのこれからが、より素敵なものになるよう願っています。

S3副担任 山崎 勉

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間を振り返ってみると、あつという間だったのではないのでしょうか。しかしながら、皆さんはこの三年間で、気がつかないうちに驚くほど成長したのだと思います。

いよいよ皆さんは、新しい環境に過ごしていくこととなりますね。優しい皆さんのことですから、順調に過ぎていくとは思いますが、ただ、もしも困ったことがあったら「できることから少しずつやってみる」という考えでやってみてください。きっと道が開けてきますよ。今後の皆さんの健康を心から願っております。

F2担任 帆北 翔太郎

ご卒業おめでとうございます。この三年間は、決して楽な道程ばかりではなかったと思います。それを乗り越え、

今日この日を迎えられたことを誇りに思うとともに、支えてくれた家族や、共に過ごした仲間への感謝の気持ちを忘れないでほしいです。さて、新生活を始めるときに「船出」と言います。皆さんはまさに今、船出のときを迎えていると思います（飛行機の人も多いでしょうが）。皆さんの旅路が良いものになるよう祈っています。

F2副担任 今門 健作

卒業おめでとうございます。もうすぐ島を離れ、これからの日本を支える大人として生きていくみなさんへ贈る言葉は一つ、「大人は愉しい」です。今後の長い人生、幸せなことばかりではないでしょう。それでも「高校時代が一番楽しかった、昔に戻りたい」と思う大人にだけはならないで欲しい。そのためにはこれからの学生・社会人生活の一日一日を悔いなく全力で駆け抜けなければいけませんよ。負けないでください。数年後、「今が一番楽しいです」と胸を張って言い切るみなさんに再会できることを楽しみにしています。

F2副担任 大山 聖子

卒業おめでとうございます。一年間の付き合いでしたが、楽しい会話ができたし、優しい人たちが多く実感ができたりして、喜界島に来て良かったと思えました。ありがとう！

これから新しい生活が始まります。まずは身体を大事にして、自分ができずやがて続くってください。どんな人も生きやすい平和な世の中を創ってほしいと思います。平和、それが幸せに繋がります。みなさんの未来に幸多きことを祈っています。

S2副担任 新坂 尚孝

卒業生とその保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。『禍福はあざなえる縄のごとし』幸も不幸も表裏一体、苦しい事の後には必ず、良いことがあるはずですよ。みなで力を合わせて一緒に頑張っていきましょう。皆さんの人生に幸多きことを心からお祈りいたします。

S2副担任 雲居 洸介

卒業生の皆さんと関わる中で英語や教員という仕事を更に好きになりました。慣れない業務に右往左往する中で、そのように思えたのは皆さんの温かな人柄があったからに他なりません。君たちは他人のことを想って行動できる希有な人間です。これから先には大変なことがあっても、それぞれが持っている輝きを捨てずに、のびのびと生きていってください。

"A gentleman will walk but never run." (Sung, 1987, Englishman In New York)

S2副担任 本紗織

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。『きかいじま』のあいいうえお作文を贈ります。これからの皆さんの活躍を心から願っております。どうか体に気をつけて。

君が描く軌跡の先に
変わり続ける未来がある
息吹く希望の種を撒け
人生は始まったばかり
邁進せよ 喜高生

F1担任 久保田 大將

この二年、皆さんの何でも懸命に取り組む姿に感動させられっぱなしでした。特に今年度は大会の中止と学校行事の制限等、通常の学校生活とは異なる日々が続きました。その中でも、試行錯誤しながら学校を盛り上げることが出来たのは、あなたたちだからです。もちろん、応援して支えてくださった周りの方のおかげでもあります。その応援団を生んだのは、あなたたちの一生懸命頑張る姿や、ちよつとした挨拶の積み重ねです。お互い、これから頑張ろうね。卒業おめでとう。

F1副担任 小林 友紀

卒業おめでとうございます。高校を卒業すると、自由時間が増えます。自由には、自分に対する責任も伴います。何かをするとき、こんなふうに考えてみてはどうでしょうか。それは自分が「したいこと」なのか、それとも「するべきこと」なのか。『したいこと』ばかりしていたら、誰一人あなたを認めようと思える人はいないかもしれない。

もしも「するべきこと」を優先し「したいこと」にも力を注ぐ。そうすることで、自分の夢に一步步近づけるのではないかと思います。さあ、自分の目標に向かって「すべきこと」と「したいこと」を書き出してみましょう。最後にジョージ・バーナードショアの言葉を送ります。『人生とは自分を見つめることではない。人生とは自分を創ることである。』

F1副担任 藤井 菜津美

私が高校時代に聞いた話ですが、知っていることが増えるほど、知らないことも増えていくそうです。当時は理解できませんでしたが、今ではこれは知っていることが増えると、自分が知らないことが何かに気づくことができる、世界が広がるということを伝えているのではないかと思います。皆さんも、そして私も、まだまだ知らないことだらけで、きっとその知らないことの中には驚くほど幸せで、楽しいことがあるはずです。だからこそ、勉強はいつまでも終わらないし、学ぶことは楽しいと思えるのではないでしようか。

さて、自分の世界を大きく広げる機会を手に入れている三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いつかまた会える日を、心より楽しみにしています。

S1担任 宮原 梓

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが体育祭や文化祭、進路決定に向けて直向きに頑張る姿に何度も元気をもらいました。会えなくなるのは寂しいですが、それぞれの未来に向かって力強く歩みを進めてくださいます。私の好きな詩に「今日の生き方が人生と私」という一節があります。今の自分が未来の自分を形作っていると思います。またどこかで会える日を楽しみに、皆さんの人生が幸多いことを願っています。

S1副担任 有村 玄太

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。四月に喜界高校に赴任し、多くの不安を抱えていた私に、「喜界高校ってこ

んなに素晴らしい学校なんだよ」ということを教えてくれたのは三年生の皆さんです。一生懸命な姿勢で臨む授業や学校行事も、笑い話をする時間もとてもしんどい時間でもっと多くの時間を共有したかったなと思わせてくれる素敵な生徒たちでした。社会に出てみてもきっと様々な場で活躍してくれる期待多き生徒たちです。ぜひ新生活を楽しんでください。成長した君たちとまた会える日を楽しみにしています。

一年間ありがとうございました！

S1副担任 児玉 飛夏

「苦悩の先に歓喜あり」今年、生誕二五〇周年を迎えたベートーヴェンの言葉です。漫然と生活すれば面白みは少ないもの。苦難に陥っても諦めず努力し続けることで、心からの感激や喜び、今までにない景色を見ることができま

世界は広いです。今見えているものだけを現実だと勘違いしたらだめだよ。世界中の沢山の文化や人に出会って、「誰にも負けない」そんな楽しくて嬉しさのつまった素敵な人生を送ってね。大好きなみんな、卒業おめでとう。そして、ありがとう。

S1副担任 松元 修

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは、二年間という短い間でしか関わることができませんでしたが、素直で優しい皆さんと授業や学校行事等で充実した二年間を過ごさせてもらいました。これからのことに、期待と不安がいろいろ混ざっていることしやう。失敗もします。後悔もします。でも、大丈夫です。全てが自分自身を支える糧となります。頑張っていれば、必ず道は開けます。期待しています。

皆さんのこれからの人生にたくさん笑顔があることを願っています。気張れよ！

